

プレイルームなど地域にある子育て施設での支援も充実。市内3カ所の保育所に開設している、地域子育て支援ルーム「アップル」では園庭開放や育児相談だけでなく、年に2回、父親が参加するイベント「パパも一緒に遊ぼうデー」を開催しています。



日々成長していく我が子の姿。見ているだけで、うれしくなりますよね。しかし、子育ては楽しいことばかりではありません。時には悩んだり、つらくなったりすることもあります。「子育ての孤立化」が深刻な問題となっている昨今。親を孤立させない、切れ目のないサポートが特徴の「かわにし流の子育て」が始まっています。詳しくは子育て・家庭支援課 ☎(740)1179へ。

## 特集 かわにし流の子育て



子育て支援相談員 茂野 伸子

「昔はご近所付き合い合いも頻繁にありましたよね。子どものことも、地域ぐるみで見守ってくれていました。でも最近は、地域の人のころか隣家の人の顔も知らないようなことが増えていきますよね。中には、子どもが泣いているだけで、虐待を疑われないか心配になる人もいるようです」

孤立化しないために少しでも人とのつながりを持ってほしいと茂野相談員は話します。

「子どもと外に出て散歩などをしていると、次第に近所の人とも顔見知りになってきますよね。また、プレイルームに来てもらえば、子育てをしている人が集まっているので安心です。思い詰める前に、息抜きもかねて、来てほしいです」

### 地域にある支援の場として 肩の力を抜いて育児をするために つながりをつくってほしい

近年、子育てに意欲的な男性が増えているといわれています。しかし、母親が中心に育児をしていることも現実。厚生労働省の26年度「雇用均等基本調査」によると、女性の育児休業取得率が86.6%なのに対し、男性は2.3%。ほとんど取得できていない状況です。また、少子化や核家族化などにより子育て環境が変化し、家庭で育児をする母親の中には、社会からの孤立感や子育てに負担感を感じている人が少なくありません。「かわにし流の子育て」では、地域の子育て施設であるプレイルームや子育てには欠かせない乳幼児健診などで、母親を孤立させないサポートに力を入れています。

#### 孤立化を防ぐ 子育て支援施設の役割

「子育ては楽しいけど、そればかりではないので、ひとりで育児をするのは限界がありますよね」

茂野伸子相談員。地域にある市内3カ所のプレイルームで子育てを支援しています。

アステ市民プラザ内にあるアステ子育て支援ルーム。1日で約40組の利用があります。

子育て中の母親から相談を受けていると、地域の中で支援することの大切さを感じると茂野相談員。

「ひとりきりで子育てをしている人が、増えているようですね。特に1人目の子どもの場合、相談できる子育て仲間がいないことも多く『子育ての孤立化』が起きやすいです。孤立化が進むと、虐待や育児放棄などにもつながりかねませんので、それを防ぐためにプレイルームなど、地域の子育て支援施設の役割も大きくなっていきます」

プレイルームで 人とのつながりをつくる

孤立化の原因はさまざま。近所とのつながりが、希薄化していることも大きな要因の一つです。

ね。ひとりで来るのは勇気がいるかもしれませんが、相談員もいるので、気軽に利用してください」

プレイルームは、子どもを遊ばせるだけではなく、地域の子育て仲間とつながれる場所でもあります。

「何度か利用するうち、親同士も顔見知りになってきます。知らないだけで、実はご近所さんだったってことも多いです。悩みを話し合ったり、情報交換をしたりして、交流を深めていますよ。子育ては楽しいことばかりではありませんが、誰かとつながり、悩みを共有することで、肩の力が少し抜けるかもしれません」

時代のニーズに合わせた サポートを

3カ所のプレイルームのほかに、清和台・けやき坂・北陵公民館で出張プレイルームを開催。そのほかにも、子育て世帯に向けたイベントを開いています。

「共働き世帯の増加など、最近では子育てのスタイルも家庭によつてさまざまです。出産する年齢も、昔に比べて多様になっていきますよね。今後は親の年齢に合わせたイベントなど、皆さんのニーズに合わせた支援も考えていきたいです」

# かわにし流の健診に密着

「診る」のは子どもだけじゃない？

## 実は…ただの健診ではありません

乳幼児健診は大切な子育てサポートの一つです。しかし、「何度も足を運ぶのは、大変」と思っている人も多いのでは。「かわにし流」の健診。単に子どもの健康状態を診るだけではないんです。川西の乳幼児健診のポイントとは。実際に、10カ月児健診の様子をのぞいてみましょう。詳しくは保健センター☎(758)4721へ。

### 10カ月児健診の流れ



### 子育てママのホシネ

■健診に密着取材した、西尾成弘さん、真由美さん、優佑ちゃんの家族。真由美さんに感想を聞きました。

育児をしていると、電話や窓口に行ってみる聞くほどではないけど、少し疑問に思うことって結構あるんですよ。それが積み重なると、不安になることもありますね。

健診に行くと、保健師さんや栄養士さん

どいろいろな職種の人がいます。問診や診察でも話せる時間をたくさん取ってくれるので、ほとんどの悩みが解決できるんです。気軽に相談できるし、すごく安心しますよね。

同じ月齢の子どもが集まる機会って、普段はほとんどないので、他のお子さん比べて、自分の子どもの成長を実感できる場所にもなっています。離乳食の話や手遊び体験も、今後の子育てに役立てていきたいですね。

■子どもの健康状態を診るだけではなく、親の支援も大切にしている乳幼児健診。市の健診で大切にしていることなど保健センターでの支援について、石見沙織保健師に話を聞きました。

### 子育ての悩みを持ち帰らないように

保健センターでは、多くの育児相談を受けますが、中でも子どもの成長に関することや離乳食といった食事に関することの相談が多いですね。

話を聞いていると、細かい悩みをたくさん抱えている人が、近頃増えているように感じます。

子育て中に抱く疑問は、近所に子育ての先輩である両親や、子育ての仲間の友人がいれば、話をしているうちに解決することが多いと思えます。でも、パートナー以外に相談できる相手がいないという人も、最近増えているんですよ。

また、インターネットや書籍など、いろいろな育児の情報があふれ過ぎていて、どれを頼りにすれば良いかわからないという話もよく聞きます。

## 気軽に相談できる存在に 妊娠中から出産、子育て期まで切れ目のない支援を継続



保健師 石見 沙織

対応します。例えば、問診や診察時だけでなく、健診の最後に、保健師と一緒に健診を振り返りながら、子どもの成長を確認していきます。

小さな悩みも積み重なれば、大きな悩みになります。どんなに小さくても、皆さんが不安や困りごとを抱えたまま家に帰らないよう工夫をしています。

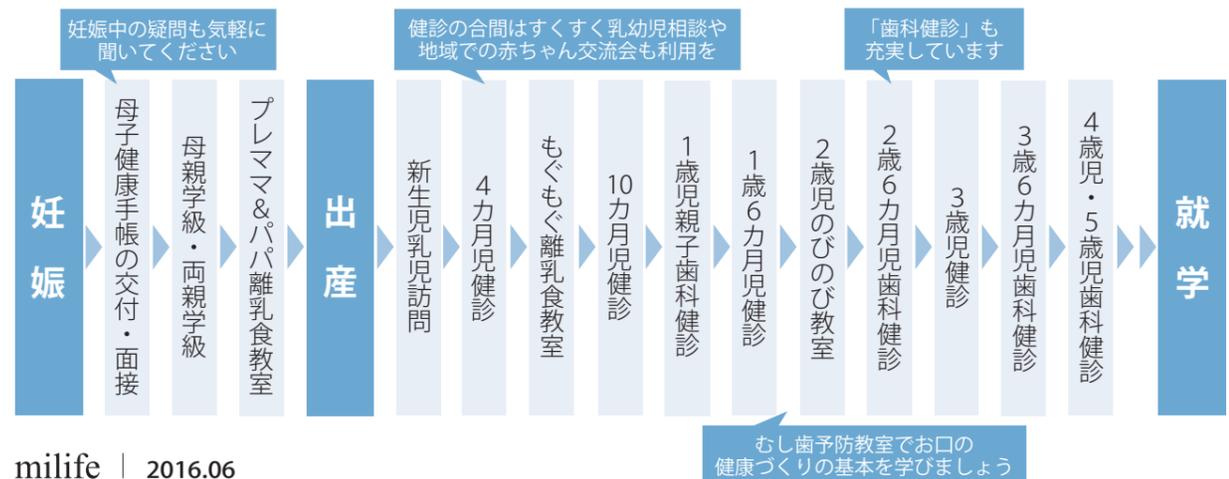
### 妊娠中から始まる切れ目のない支援

妊婦さんも不安を感じる人が多いですよ。だから、最初の母子健康手帳を交付するときの面接を大切にしています。必ず保健師が話を聞いて、安心して出産を迎え、子育てできるよう支援していきます。

また、小学校区ごとに担当の保健師がいて、乳幼児健診以外の場でも地域の赤ちゃん交流会などに出向いたり、家庭訪問もしています。

子どもの成長発達のことや、親の子育てに関する心配ごとなどを気軽に聞ける身近な存在だと思ってほしいです。

そのほかにも、歯科健診や子育て教室なども並行して開催することで、切れ目のない支援の充実を図っています。



# 新しい制度に注目 あなたの子育てを全力でサポート

川西をもっと子育てしやすいまちにするために、相談窓口や子育て支援施設を設置するなど、市では育児を応援する制度を整備しています。また、今年の6月からは、市内の金融機関とタッグを組んで新たな取り組みをスタートします。

## 新しい制度でバックアップ

6月から始まる新しい取り組み「きんたくんエンゼル積立支援制度」。子育てに対する親としての自覚や、計画的な子育て意識の醸成を図ることを目的に、市と市内の金融機関が協力することで実現しました。

赤ちゃんの誕生を機に出産祝い金を支給することで、子育てをバックアップしていきます。また、今年度の取り組みとして、年収が一定額未満の多子世帯やひとり親世帯に対する支援を拡充。幼稚園と保育所の保育料を軽減する制度が変わります。

このほかにも、6月1日(水)から「親元近居助成制度」の受け付けを開始。市内の親世帯と近居するために、市内に住宅を買った子育て世帯に対し、登記費用の一部を助成します(詳細は市ホームページに掲載)。

誰もが子どもを育てやすい環境にしていくために、子育て世帯へ費用面での支援も充実させていきます。

## 子育ての悩み共有しませんか

27年に実施した「子ども・子育て計画」のアンケート調査による

## 子育てを支える事業や施設

### 相談事業

■利用者支援事業(市役所3階のこども育成課)

日時 平日午前9時—午後5時半

問合せ ☎(740)1175

■すくすく乳幼児相談(保健センター)

日時 6月24日(金)(乳児)・7月22日(金)(幼児)

午前9時半—11時半

問合せ ☎(758)4721

### プレイルーム

■アステ市民プラザ子育て支援ルーム

日時 月~日曜日午前10時—午後4時

問合せ ☎(740)1125

■総合センター

日時 月・火・木曜日午前9時半—正午・午後0時半—3時

問合せ ☎(758)8398

■牧の台子育て学習センター

日時 月~木曜日午前9時半—正午・午後0時半—3時、金曜日午前9時半—正午

問合せ ☎(794)7065

■出張プレイルーム“とことこ”

日時 第2・4火曜日(清和台公民館)、第1・3

水曜日(けやき坂公民館)、第2・4木曜日

(北陵公民館) 午前10時—11時半

問合せ ☎(794)7065

### 地域子育て支援センター「タブリエ」

パステル保育園内に開設。

問合せ ☎(757)2440

■プレイルーム

日時 月・火曜日午前9時—正午、月~木曜日

午後1時—3時

■育児相談

日時 来園での相談は随時。電話での相談は平

日午前10時—午後3時

### 地域子育て支援ルーム「アップル」

多田・川西中央・川西南保育所内に開設。

問合せ 多田保育所☎(793)7724

川西中央保育所☎(759)2261

川西南保育所☎(759)7119

■プレイルーム

日時 平日午前9時—正午、午後0時半—2時半

■育児相談

日時 来園での相談は随時。電話での相談は平

日午前10時—午後3時

## 地域の皆さんとともに 子育てを応援します

こども育成課主幹 河南裕美

「今、なぜ、国を挙げて子育て施策をするんだろう。これまでだって、みんな子育てをしてきたじゃないか。」と、思われる人もいるのではないのでしょうか。

かつては、路地裏などで、子どもたちが集まって遊ぶ時代がありました。「外に行つて遊んでおいで」と、家から出された時代です。

地域の中で、冒険心や自分を試そうとする気持ち、けんかしても次の日は仲良く遊ぶという社会性、仲間に入れてもらうには順番を守らないといけないという道徳性など、人としての基本を自然に身に付けていく「子育て」の場がありました。それとともに、家庭で「子育て」をしてきたのです。

今、子育てをしている皆さんが、

子育てが下手だとか、手抜きをしているという訳ではなく、子どもが減り、「子育て」できる場所が少なくなつて、どうしても「家庭」の中だけで育てていけないといかない比率が高まつてしまったのです。

そういう大変さを、今の親は背負っているからこそ、何とか応援しないとけないということでも生じたのが「子育て支援」です。

今の時代に子育てするのって、本当に大変ですよ。それでも、「子どもを育てるって、えらいよね。頑張ってるよね。」という周りの共感のまなざしは、大きな「子育て支援」となります。

まちらあふれる温かいまなざしの中で育児ができることが「かわにし流」といえるように、地域の皆さんと共に子育てを応援していきたいと思えます。



## きんたくん エンゼル積立 支援制度 6月1日 受付開始

### 概要

出産を機に、市内の協力金融機関で赤ちゃん名義の積立口座を開設した際に、5,000円を給付。併せて、積立金の追加給付や、金利の優遇、キャラクターグッズの贈呈など各金融機関からプレミアム(特典)が付いてきます。

### 対象

平成28年4月1日以降に生まれ、出生時または生後4カ月未満に川西市に住民登録した赤ちゃん。所得制限はありません。

### 申し込み

出生日から1年未満に、市役所3階の子育て・家庭支援課窓口で申請。後日送付する交付決定通知書と交付請求書を持参し協力金融機関で積立口座を開設してください。

### 協力金融機関一覧

池田泉州銀行、兵庫六甲農業協同組合  
※協力金融機関は、今後増える見込みです

問合せ 子育て・家庭支援課☎(740)1179

と、就学前の児童を持つ親のうち、育児で日ごろ悩んでいること、気になることが「特にない」と答えた人は約8%。9割以上の人が、子育てに何らかの悩みを感じているという結果が表れました。

市では、プレイルームや乳幼児健診以外にも、相談窓口などを設置しています。

こども育成課の窓口で、昨年から開設している「利用者支援事業」。専門の職員が対応し、保育施設に関する相談はもろろのこと、必要に応じて、関係機関や行政サービスへとつなぐ橋渡しもしています。

多田・川西中央・川西南保育所内にある地域子育て支援ルーム

「アップル」では、プレイルームと育児相談窓口を設置。子育て中の人同士がつながることができると取り組みも充実しています。

また、地域では、保健センターの保健師も出向く「赤ちゃん交流会」のほか、子育て中の親が自主的にグループを立ち上げて交流会を開催。

地域の子どもと親たちを見守る主任児童委員が「まちの子育てひろば」を開くなど、みんなで子どもの成長を見守り、おとなもつながりを持つと活動しています。誰もが子育て中に感じる、不安や悩み。一人で抱え込まず、子育て支援サービスを利用してみてくだい。